



ごがんなん
護岸って何なの

かわぎし ていぼう まも しせつ
川岸や堤防を守る施設

あなたは、川に遊びに行ったとき、川岸がいろいろなものでおおわれているのに、気づいたでしょう。コンクリートや、石で土手の部分がおおわれたりしていますね。

このように、川岸や海岸をコンクリート、アスファルト、石などでおおい、土手などが水の力でけずられるのを防ぎ、水害が起こらないように保護する施設を、「護岸」といいます。

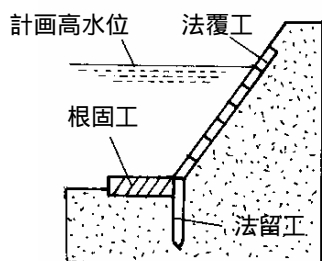
川に向かってかたむいている部分には、水の流れの強さに応じて、芝、円とう形に編んだかごに石をつめた「蛇かご」、石、コンクリート、アスファルトなどを使ってしゃ面を保護します。

また、川の底にあたる部分には、捨石、蛇かご、コンクリートのブロックなどを使い、川底部分を保護します。

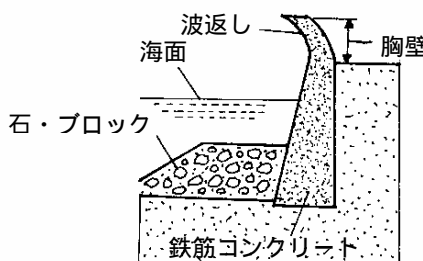
かいがんなん
海岸の護岸は、波がこえてくるのを防ぐ

海岸の護岸は、川のものとはちがって、海の波が護岸をのりこえてくるのを防ぐようにしてあります。これを波返しといいます。ほとんどコンクリートで造られています。

護岸の底の部分を、波の力でけずりとりされないようにするために、捨石を置いたり、消波ブロックなどを置きます。（監修・保岡 孝之）



河川護岸



海岸護岸

